

カトリック 大名町教会ニュース

DAIMYOMACHI CATHOLIC CHURCH NEWSLETTER

[ミサ時間] 主日ミサ:(土)19時/(日) 7時・9時30分/英語ミサ(日)16時

[ホームページ] <http://church.jp/catholic-daimyoumachi/>

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7 [巡] 能古島カトリック教会 ミサ(土)18時

Tel:092-741-3687 Fax:741-5107

〒819-0012 西区能古弁当 1621-12

発行責任者:杉原寛信神父

3

福岡教区年間テーマ：信じる喜びから 伝える喜びへ

大名町教会年間テーマ：全ての人に対してキリストの光でありなさい！

Be the light of Christ to everyone.

聖週間典礼

3月28日：9時・10時半

(受難の主日・枝の主日)

・枝の行列はありません。

3月31日(水)：15時

・聖香油ミサ

4月1日(聖木曜)：

・主の晩餐のミサ

アベイヤ司教司式：19時

4月2日(聖金曜)：

・主の受難のミサ

アベイヤ司教司式：19時

4月3日(聖土曜)：

・復活徹夜祭

アベイヤ司教司式：19時

4月4日(主の復活)：

・復活祭ミサ

ジョン新司祭初ミサ

9時・10時半・15時

* 10時半ミサ後、福島支援バザー

四旬節

『愛の献金』に
ご協力お願いします



ペトロ船津亮太神父様に、花束を贈って感謝！

2020年11月22日、船津神父様のご指導で初聖体を受けた子どもたちが、「僕たちも良いぶどうの実となれるように、ミサや教会学校の勉強をこれからもがんばります」と、転任される神父様にお礼と感謝のことばと共に花束を贈りました。



3月19日(聖ヨセフ)

アベイヤ司教様の霊名の祝日を祝う。教皇様は、聖ヨセフがカトリック教会の保護者と宣言されて150年を記念し、2020年12月8日から今年の12月8日までを『ヨセフ年』と宣言なさいました。祈りと免償があります。

ゆるしの秘蹟：希望者は、個別に司祭に依頼してください。

アベイヤ司教様 四旬節にあたって

* 『今は、恵みのとき、今こそ、救いの日です』(コリント 6:2)

・コロナ禍の中、苦しんでいる人たちに奉仕する人々の姿は、私たちに希望をもたらします。

「灰の水曜日」の福音には、回心へ導く3つのことが示されています。「祈り・施し・断食」です。この実行のための具体的な提案。

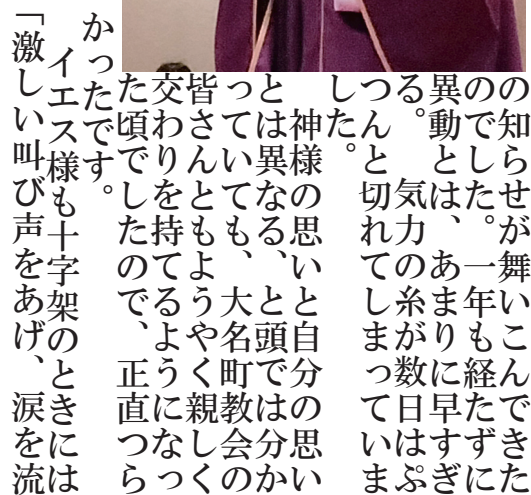
「祈り」⇒神様の前で、普段よりも多くの時間祈り、現実を見つめ直し、神様が呼びかけておられることに耳を傾け、毎日のみことばを味わう。

「施し」⇒パンデミックの状況に合った施し方を探す。仕事を失った人々、生活に困っている移住者、深い孤独を味わいながら生活している一人暮らしの方々に。

「断食」⇒何のために断食するのかを改めて考える。単に規則を守るのではなく、毎日、断食を余儀なくされている人たちとの連帯を強め、それに応える行動を呼び起こすことが求められる。

* 四旬節が神に立ち返り、兄弟姉妹に目と心に向ける「恵みの時」となりますように。

船津亮太神父様小倉教会へ
お元気で



神父様お元気で送ることば

船津亮太神父様の姿

2020年7月23日に司祭叙階後、大名町教会での平日ミサの司式を、留守でない限り、全て船津神父様に受け持っていた。小倉教会へ異動する日まで。

毎日、みことばを黙想し、欠かすことなく福音後に短い説教を、参列信徒に分かち合い続けてくださった。毎日の黙想を通しての説教の準備に、大切な疲れを覚えたに違いない。それはかけがえのない力になっているはず。そして大名町教会に何とも心地よいものを吹かせた足跡を残してもらった。

様々な経験を通して貯えたものを、今後、どのように活かして行

しなから（ヘブライ5・7）」祈りと願いをささげられたのでした。わたしたちもイエス様の間としての苦しみに、結ばれたと思います。「彼が担ったのはわたしたちの病、彼が負ったのはわたしたちの痛みであった（イザヤ53・4）」。

すべての人と苦しみを通して連帯し、結ばれようとされるイエス様に信頼して、歩んでいく所存です。これまで大名町教会の皆さんにはわたしを支えていただきありがとうございます。

皆さん、どうぞ、お元気で。ペトロ 船津亮太 神父

【洗礼】、【結婚】、【転入】、【転出】
・ありませんでした。

【帰天】 永遠の安息をお祈りします
2月13日

・ヨゼフ 片岡 靖男（79歳）
2月24日

・マリア 原 千代子（95歳）

教区100周年に向けて、司祭、信徒の交わりを深め、健康に留意されご活躍されることをお祈りいたします。ありがとうございます。

大名町教会信徒会長

大名町教会2月の現勢

かれるのか楽しみを覚える。

「司祭職」そのものから、これまでも真剣に聴き続けてもらいたい。カトリック大名町教会

主任司祭 ペトロ 杉原寛信

お元気で

船津亮太神父様、大変お世話になりました。コロナ禍の司祭叙階、そしてあまりにも短い大名町教会での宣教と司牧、落ち着く間もないほどの時を過ごされたことでしょう。今日の日捲り諺、『綺麗な花は山に咲く』、みことばは、『私は主のはしためです。お言葉どおり、なりますように』でした。『綺麗な花』とマリア様のお言葉が重なりました。小倉の歴史と殉教地を歩く神父様のお姿が目につかびます。

堅信クラスでのこと

大名町教会信徒会長

F・ザビエル 浜崎 公夫

落ちていた低い声、ゆっくりとした語り口、穏やかなうなずき、美しいお辞儀の仕方。

そんな船津神父様に厳しく叱られた。「人の話を聞く姿勢がなっていない。勉強以前の問題です。」と。その後、少しづつ落ち着いてこころも整えられてきたところでの非常事態宣言。残念でなりません。読み聞かせてくださった絵本』と「もち」。

「ともだちって誰だろうね．．． イエス様だね」。いつもの穏やかな優しい声でした。ありがとうございました。どうぞ、お元気で。

大名町教会学校リーダー

テレジア 宗 みどり